

# より**優しく** より**強い** まつやまへ

～一人でも多くの人を笑顔に～



のし**かつ**ひと**克仁**

## プロフィール

1967年(昭和42年)7月31日  
松山市生まれ 55才  
(久枝地区在住／実家は北条河野地区)  
●家族構成[四人家族]／妻・娘・息子  
●趣味／ジョギング、スポーツ観戦  
●好きな言葉／一所懸命

## ●略歴

1980年松山市立清水小学校卒業。  
1983年伊予三島市立南中学校卒業。  
1986年愛媛県立松山南高校卒業。  
1990年岡山大学経済学部卒業。  
1990年地元放送局にアナウンサーとして入社。  
2010年10月1日 退職。  
2010年11月松山市長に就任。(現在3期目)。

## 3つの取組姿勢

1

感染症や自然災害などさまざまな困難から  
「市民の暮らしを守ります」

2

「現地・現場」を大切に、「市民目線」を大切に  
「市民が主役の  
まちづくりを進めます」

3

ウィズコロナ、人口減少、脱炭素、デジタル化など  
「新しい時代に挑みます」



# 柱① 少子化対策と子育て環境の充実

- ①こども家庭部(仮称)を新たに設け、出会い、結婚、妊娠、出産、育児などライフステージに応じた支援をします。
- ②愚陀仏庵教育プログラム、平和教育プログラムを実施するなど、地域に誇りを持ち、心豊かなこども達を育てます。
- ③プログラミング教育や、最先端の社会に触れる学習など、デジタル社会に順応した人材を育成するため、教科横断的な教育を充実します。
- ④ヤングケアラーの支援を強化し、こどもの生活・学習支援を小学生まで拡げます。
- ⑤児童クラブを充実するなど、こどもの居場所づくりを進めます。
- ⑥こどもの体調不良時にも、安心して預けられる病児・病後児保育を充実します。



# 柱② 交通の利便性向上とまちの賑わい創出

- ①市駅前広場や花園町通り、城山公園や総合公園(動物愛護施設)で賑わいをつくり、街の回遊性を高めます。
- ②JR松山駅周辺整備に合わせ、「バスタプロジェクト」を進めます。
- ③市民の皆さんがスポーツに親しみ、俳句や文学、芸術や音楽などに気軽に触れ、訪れる人が感動できる機会を増やします。
- ④ウォーキングや健康マイレージ事業で、高齢者の外出機会を創り出し、健康寿命を延ばします。
- ⑤国の「都市再生緊急整備地域」を活かし、市街地再開発事業など、民間主導の取組を支援します。



# 柱③ 経済の活性化と雇用環境の整備

- ①道後温泉本館の保存修理工事を知恵と工夫で乗り越えます。
- ②九州地域をエリアに加え「瀬戸内・松山」観光ビジネス戦略を展開し、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたインバウンド対策を強化します。
- ③担い手の確保や有害鳥獣対策など、松山の農業を守ります。
- ④ブランド製品の販路拡大、デジタル社会に応じた流通販売など、儲かる農林水産業を推し進めます。
- ⑤創業、成長、継承や人手不足の解消、デジタル化で、事業の効率化や生産性の向上など中小企業を応援します。



# 柱④ 安全・安心で持続可能なまちづくり

- ①小学生から高齢者まで切れ目ない防災リーダーを育成し、「逃げ遅れゼロプロジェクト」を進め、「松山圏域消防指令センター」を整備します。
- ②3階建て以上の公民館にエレベーターを設け、まちづくり協議会や公民館の活動のデジタル化を支援し、持続可能な地域コミュニティを支えます。
- ③公民館本館、小学校、中学校の運動場や体育館などにWi-Fi環境を整えます。
- ④家庭ごみの「ふれあい収集」を市内全域に広がります。
- ⑤節水型都市づくりを進めるとともに、新規水源の確保を目指します。
- ⑥まつやまの魅力を広く発信するとともに、デュアルワークやサテライトオフィスなど、大都市から人や投資を呼び込みます。
- ⑦農業、介護などDXを推し進め、暮らしを便利にします。
- ⑧市民の皆さんの生活を便利に、また、快適にする「サービスや新技術」を産官学で生み出す場をつくります。
- ⑨風早、忽那諸島、三津浜、久谷など地域の歴史や文化、自然などの魅力を磨きます。
- ⑩SDGs未来都市で誰もがいきいきと暮らせるまちを、また、環境モデル都市でゼロカーボンシティ松山の実現を目指します。
- ⑪タウンミーティング126回のこれまでの開催を活かし、継続し、各地区の魅力を伸ばし、課題を減らします。

※DX(デジタル トランスフォーメーション)デジタル技術によって製品やサービス、ビジネスモデルを「変革」すること。

